

令和5年度 春日東野幼稚園自己評価公表シート

作成 学校法人谷野学園 春日東野幼稚園

1. 本園の教育目標

● ともだちと楽しく遊び、明るくがんばれる子を育む。

上記を目標に

「身の回りのことをできる子」「元気に遊ぶ子」「思いやりのある子」「表現豊かな子」「がんばる子」を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

① 子育て支援の更なる充実

・満3歳児クラス、未就園児クラス、預かり保育の更なる充実

② 一時預かり事業の充実

・上記の子育て支援の充実と重複する項目であるが、特に重要かつ充実させるための設備、人材確保等多岐にわたる内容となるので、別課題とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	取り組み状況	評価	達成度
①	満3歳、未就園児の受入拡大 長期休み中の預かり保育実施	保育室の一部改装等により受入人数の拡大を図った。 保護者ニーズによるもので、うまく対応できたと評する。 新型コロナ流行も納まり、ようやく平常通りの預かり保育を行う事が出来た。	A
②	一時預かり事業の充実	・0歳からの一時預かり事業も、様々な課題が残っているが利用者にはなくてはならない事業となっている。 ただ、保育者の人数などまだ不十分な部分があり拡大までには至っていない。	C

達成度の表示方法 【A】：充分達成されている

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが成果が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

本年度の重点課題としていた項目、新型コロナウイルスも落ち着き平常通り行う事が出来た。未就園児の受入人数の拡大など、保護者の希望にうまく対応できたと考える。

来年度以降も継続し、充実に取り組んでいきたい。

一時預かり事業についてはやはり人材確保が課題となっている。各方面に働きかけ、より利用者にとって使いやすく安心できる内容にしていきたい。

5-1. 今後取り組むべき課題（令和6年度の重点目標）

課 題	具体的な取り組み方法
子育て支援の更なる充実（継続）	・引き続き保護者の意見やニーズを取り入れ、広範囲に充実を計る
一時預かり事業の充実（継続）	・上記の子育て支援の充実と重複する項目であるが、特に重要かつ充実させるための設備、人材確保等、多岐にわたる内容となるので今年度に引き続き、別課題とする

5-2. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
新たな制度への対応	・施設型給付園となり、様々な新しい制度への更なる理解、対応が必要 ・だれでも通園制度など、国の新しい枠組の対応

5-3. 今後取り組むべき課題（長期的課題）

課 題	具体的な取り組み方法
園舎の耐震強化工事	・耐震診断では問題は見られなかったが、東日本大震災や最近の大阪北部地震を受け、必要であれば耐震強化を行うための計画を検討する。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。